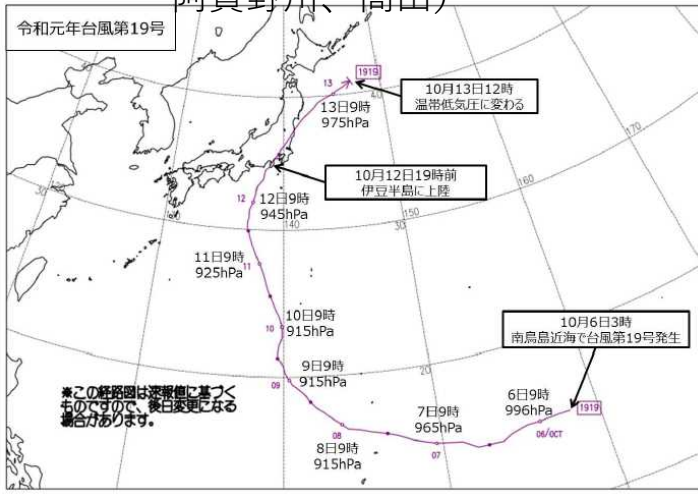


1. 台風第19号出水の状況

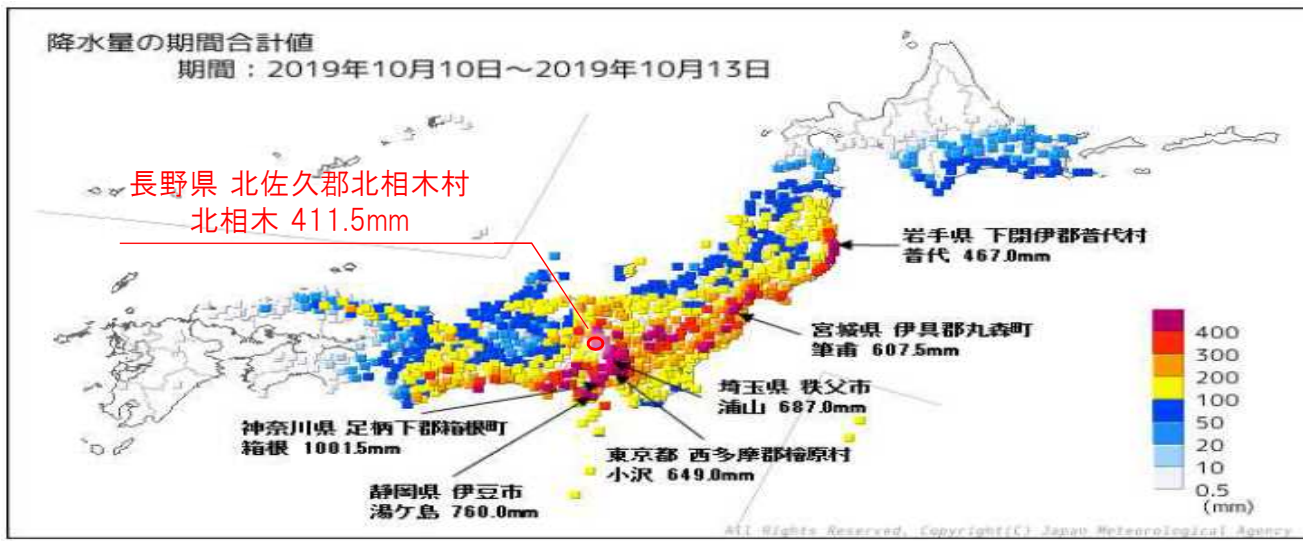
- ◆10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は大型で猛烈な台風に発達した後、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸。その後、関東地方を通過し、13日12時には温帯低気圧へ変化。
- ◆台風の接近に伴い、広範囲で大雨を記録。北陸管内の特別警報は、長野県(12日15:30)、新潟県(12日19:50)、福島県(12日19:50)において発表。
- ◆北陸地整の災害体制は、台風接近前の12日9:30に警戒体制を発令し準備を整え、同日17:40に非常体制を発令(12月26日14:00に警戒体制へ移行)

【北陸地整の災害体制】

- ◆本部／風水害
[警戒]12日 9:30発令
[非常]12日17:40 発令
(12月26日警戒体制へ移行)
- ◆支援本部／風水害
[注意]12日 9:30発令
[警戒]12日15:30発令 (12月26日解除)
- ◆支部／風水害
[非常] 最大4支部 (千曲川、信濃川、阿賀野川、高田)

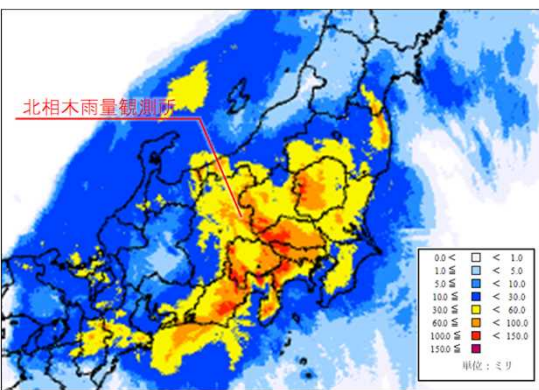


台風経路図(令和元年台風第19号)

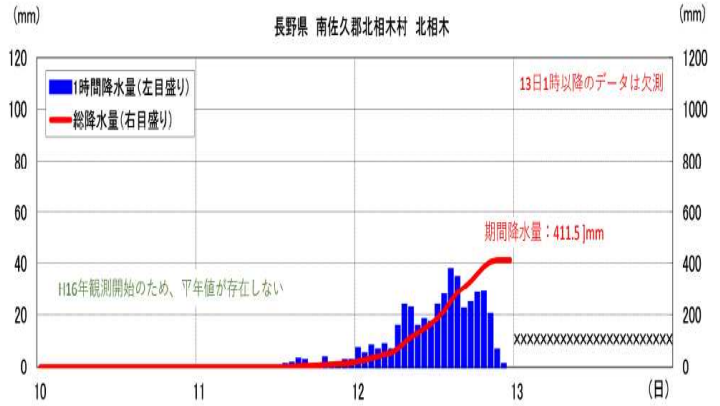


期間降水量分布図 [10/10 0:00～10/13 24:00]

※佐久地方は年降水量が少ない地域 (年降水量800～1000mm (全国1700mm))



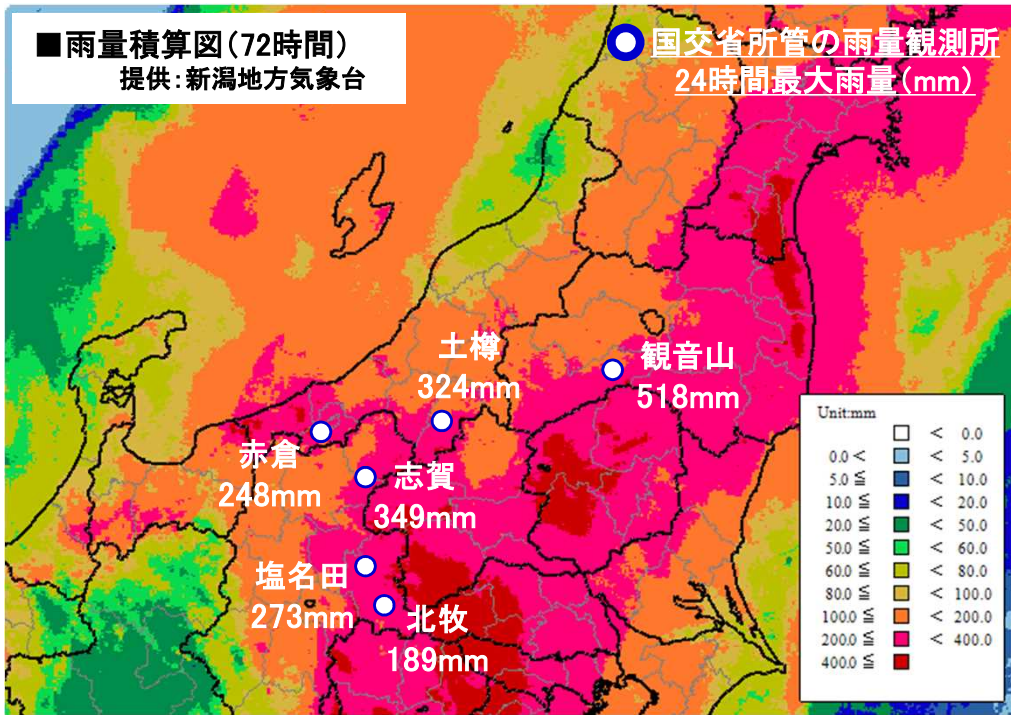
3時間降水量 [10/12 13時～16時]



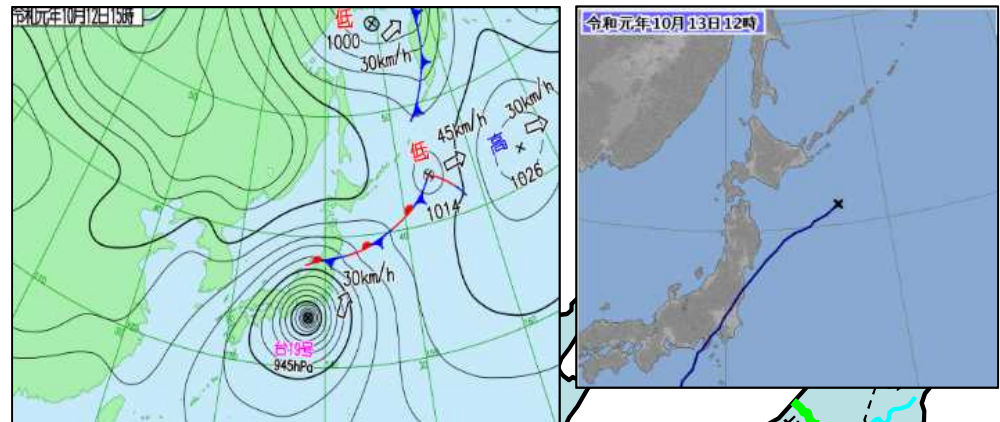
降雨量時系列図(長野県 北相木雨量観測所)

令和元年 台風第19号の気象・出水概要

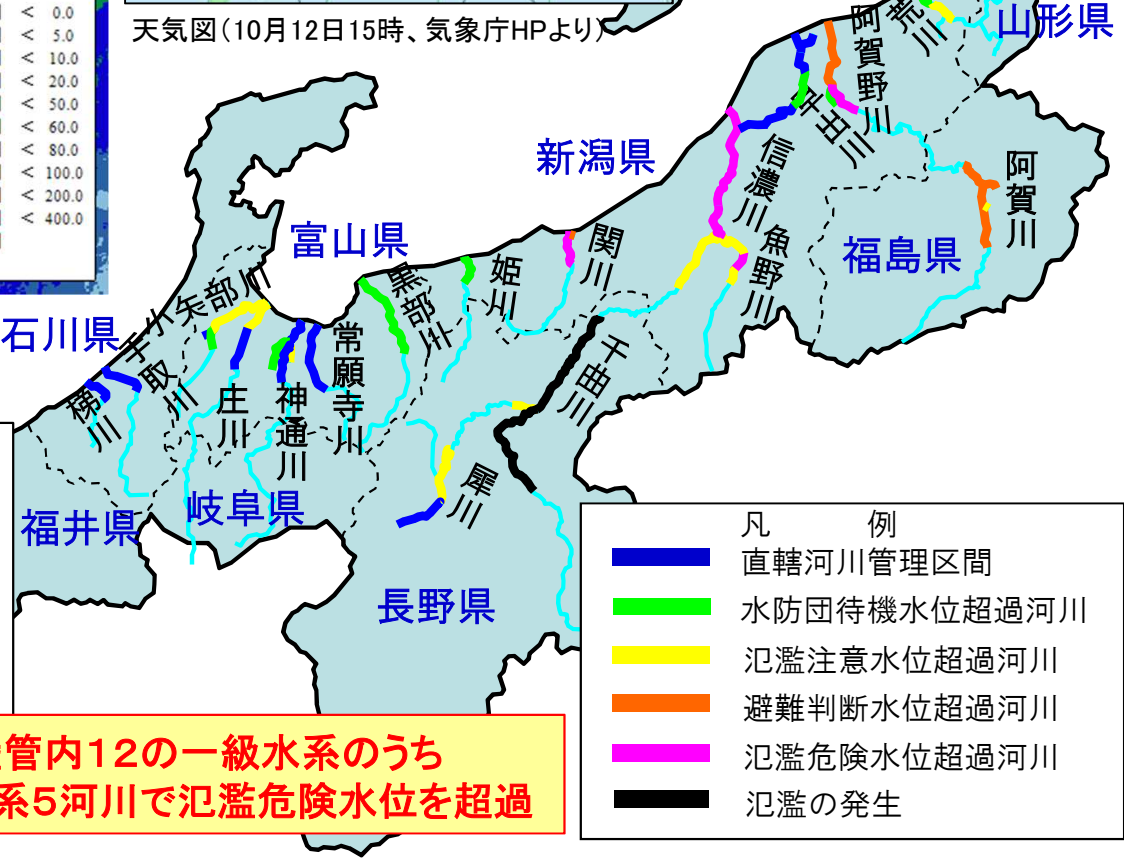
○大型で非常に強い台風第19号は、10月12日の夕方～夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海・関東地方に上陸し、台風本体の発達した雨雲の影響により、北陸管内の山沿いを中心に大雨をもたらした。



※流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



- 河川出水状況(直轄河川)
- レベル5(氾濫の発生) <1河川>
 - ・信濃川水系(千曲川)
- レベル4(氾濫危険水位超過) <5河川>
 - ・信濃川水系(千曲川、信濃川、魚野川)
 - ・阿賀野川水系(阿賀野川)
 - ・関川水系(関川)

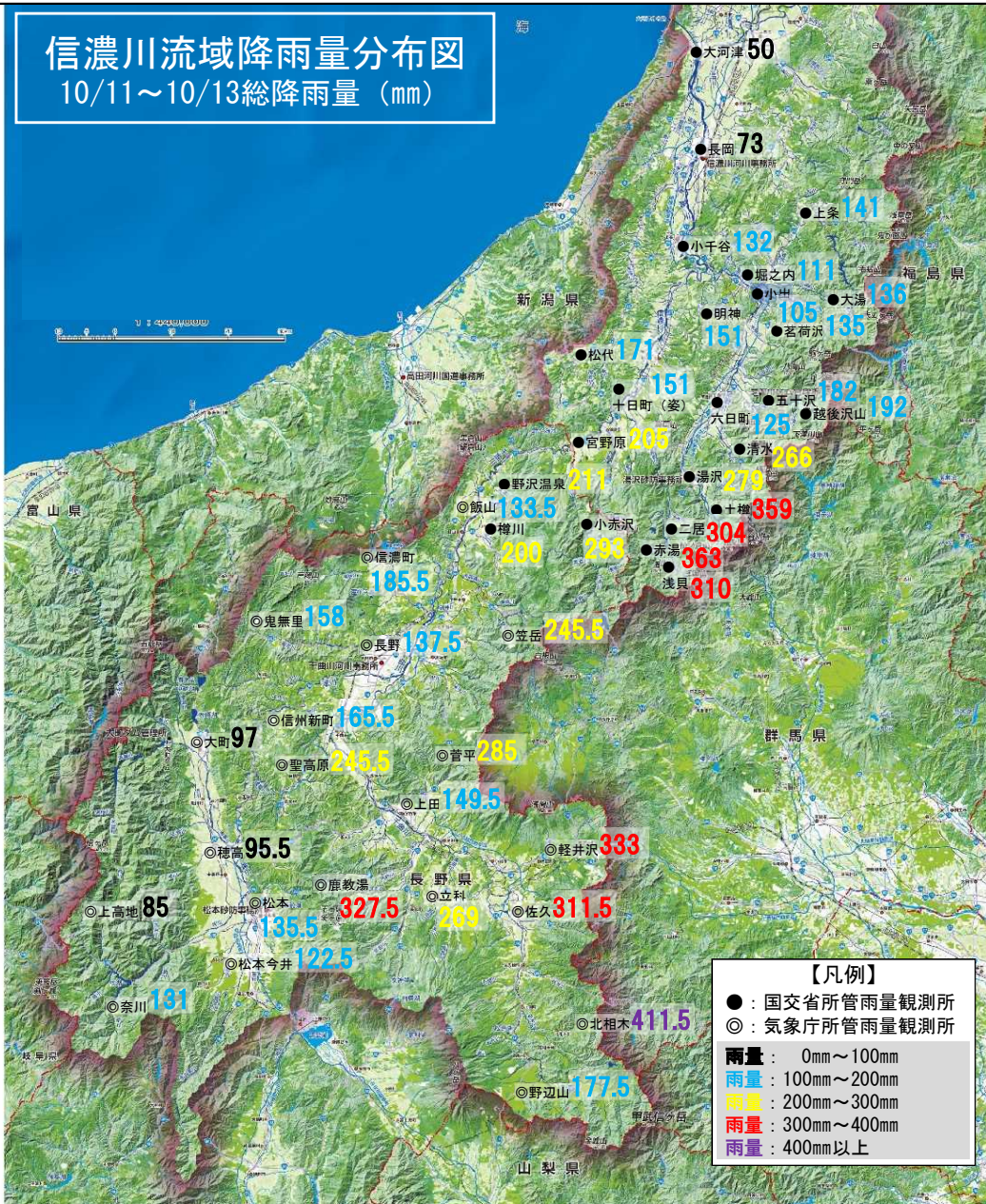


北陸管内12の一級水系のうち
3水系5河川で氾濫危険水位を超過

令和元年台風第19号豪雨の概要(信濃川水系千曲川)

■ 大型で非常に強い台風第19号は、10月12日の夕方から夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海・関東地方に上陸し、台風本体の発達した雨雲の影響により、既往最大を超える大雨をもたらした。

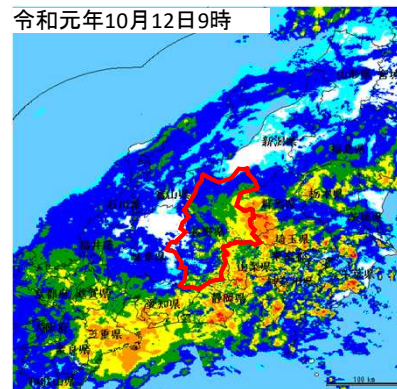
信濃川流域降雨量分布図
10/11～10/13総降雨量 (mm)



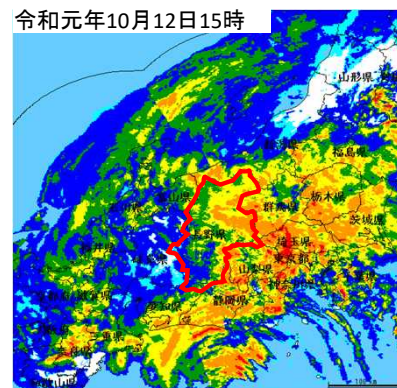
■ レーダー雨量(中部地方)

※速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

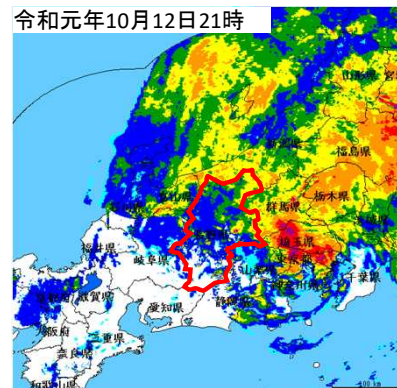
令和元年10月12日9時



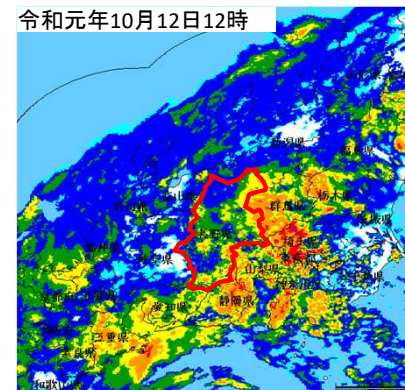
令和元年10月12日15時



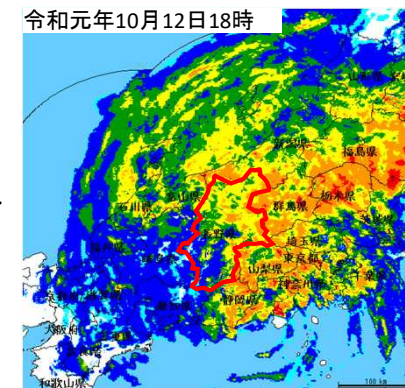
令和元年10月12日21時



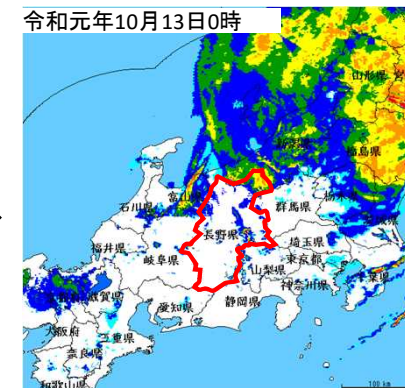
令和元年10月12日12時



令和元年10月12日18時

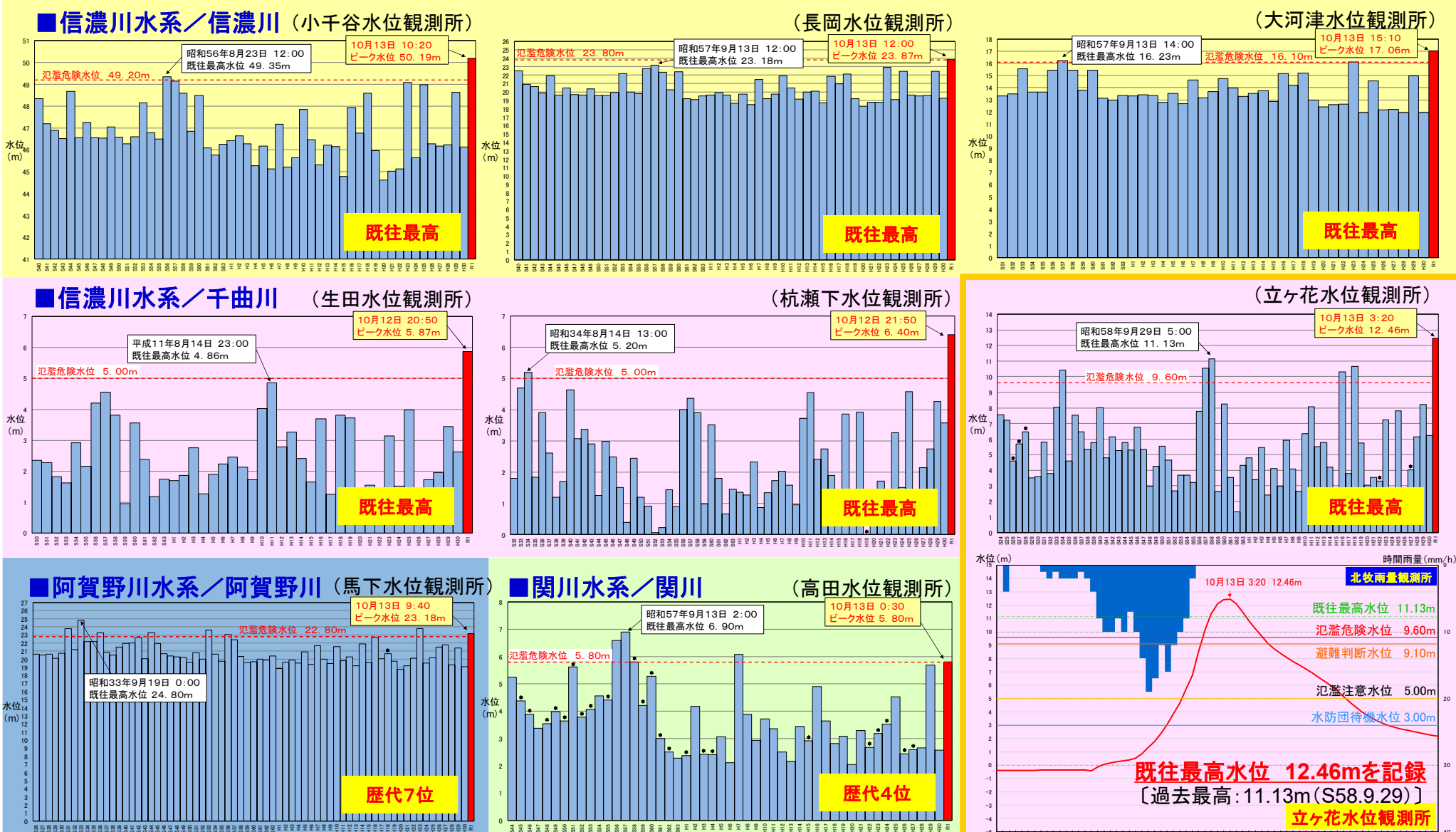


令和元年10月13日0時

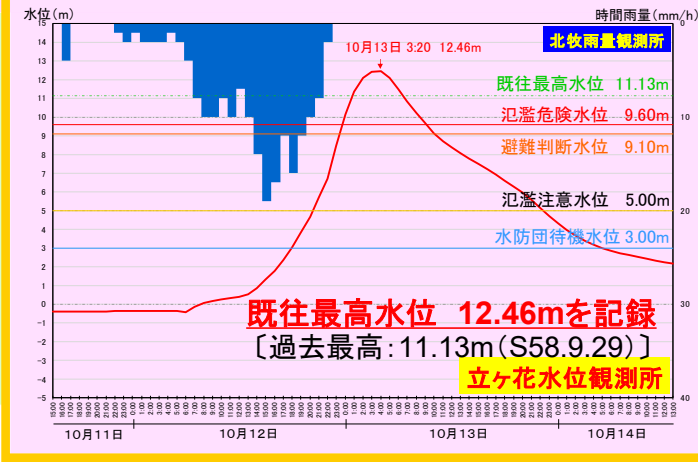


令和元年 台風第19号の気象・出水概要

○信濃川水系(千曲川～信濃川)では、全川を通じて**既往最高**となる**ピーク水位**を観測した。
○阿賀野川や関川水系でも、歴代上位となる観測値を記録した。



●本資料の数値は、暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。
【*】: 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

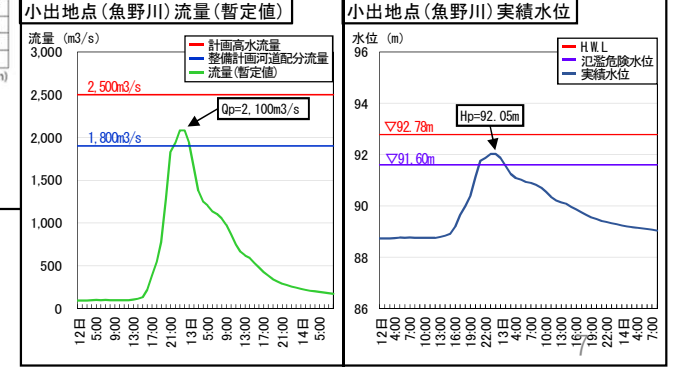
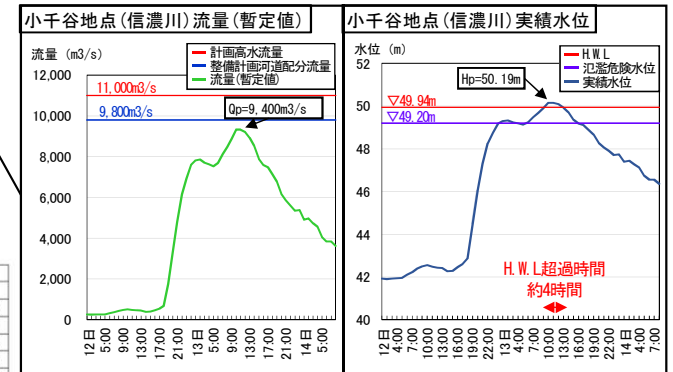
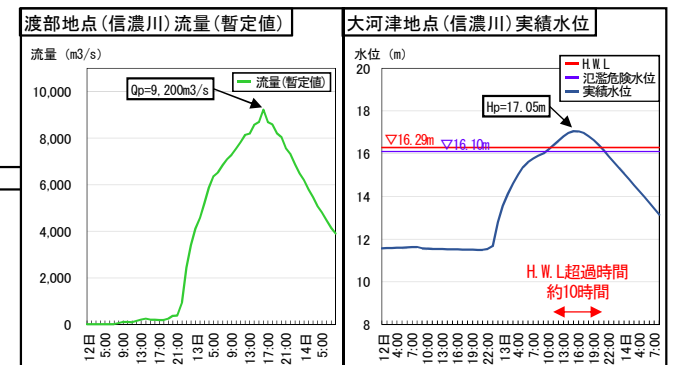
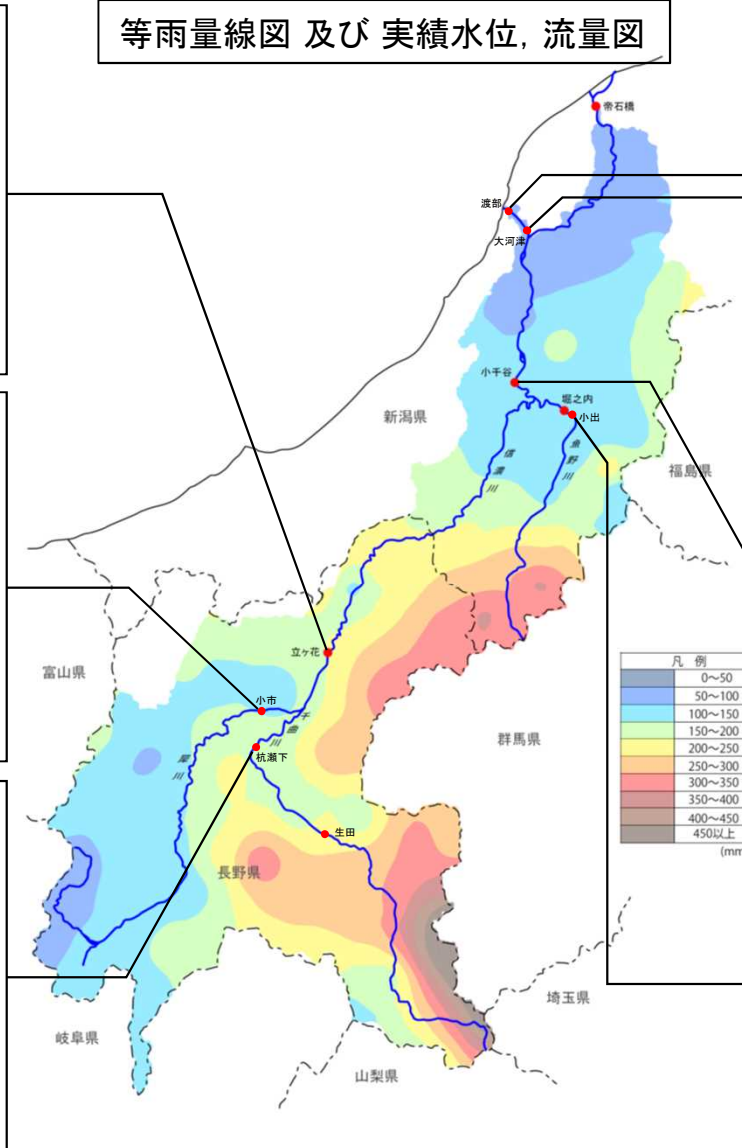
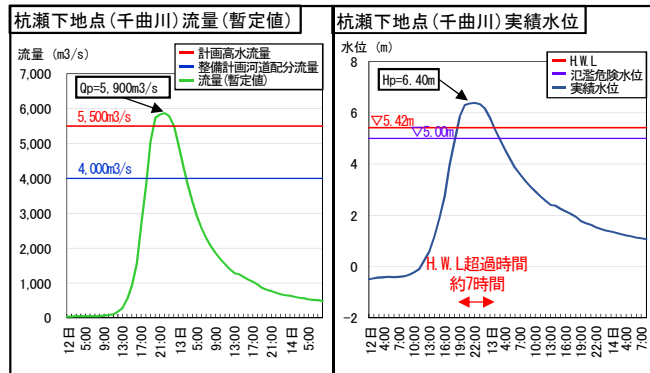
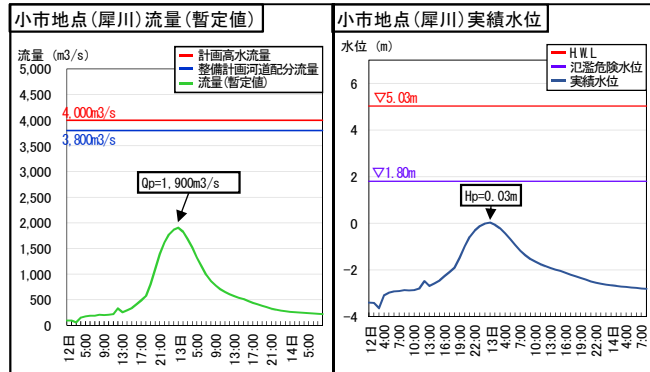
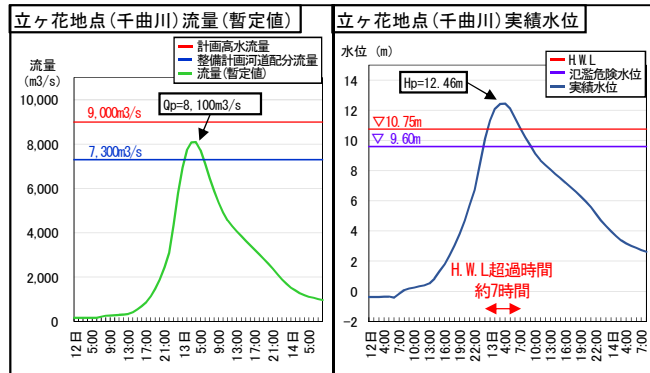


令和元年 台風第19号の出水状況

○信濃川流域における流域平均2日雨量は、立ヶ花地点で196.8mm/2d、小千谷地点で199.2mm/2dを記録し、ともに既往最大を更新した。

○千曲川管内の3地点で氾濫危険水位を超過(内3地点で計画高水位を超過)し、信濃川管内の4地点で氾濫危険水位を超過(内2地点で計画高水位を超過)した。

等雨量線図 及び 実績水位、流量図



●本資料の数値は、暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

令和元年 台風第19号の被災状況

○台風第19号による人的・建物被害は、全国で死者98人、重軽傷者484名、住家被害(全半壊23,518棟、一部損壊24,490棟、浸水43,209棟)、管内では長野県、新潟県で甚大な被害をもたらした。

◆長野県:死者5名、重軽傷者144名、住家被害(全半壊3,418棟、一部損壊3,422棟、浸水1,795棟)

◆新潟県:重軽傷者5名、住家被害(全半壊11棟、一部損壊30棟、浸水311棟) ※消防庁情報:12月2日時点

【長野市穂保地区】

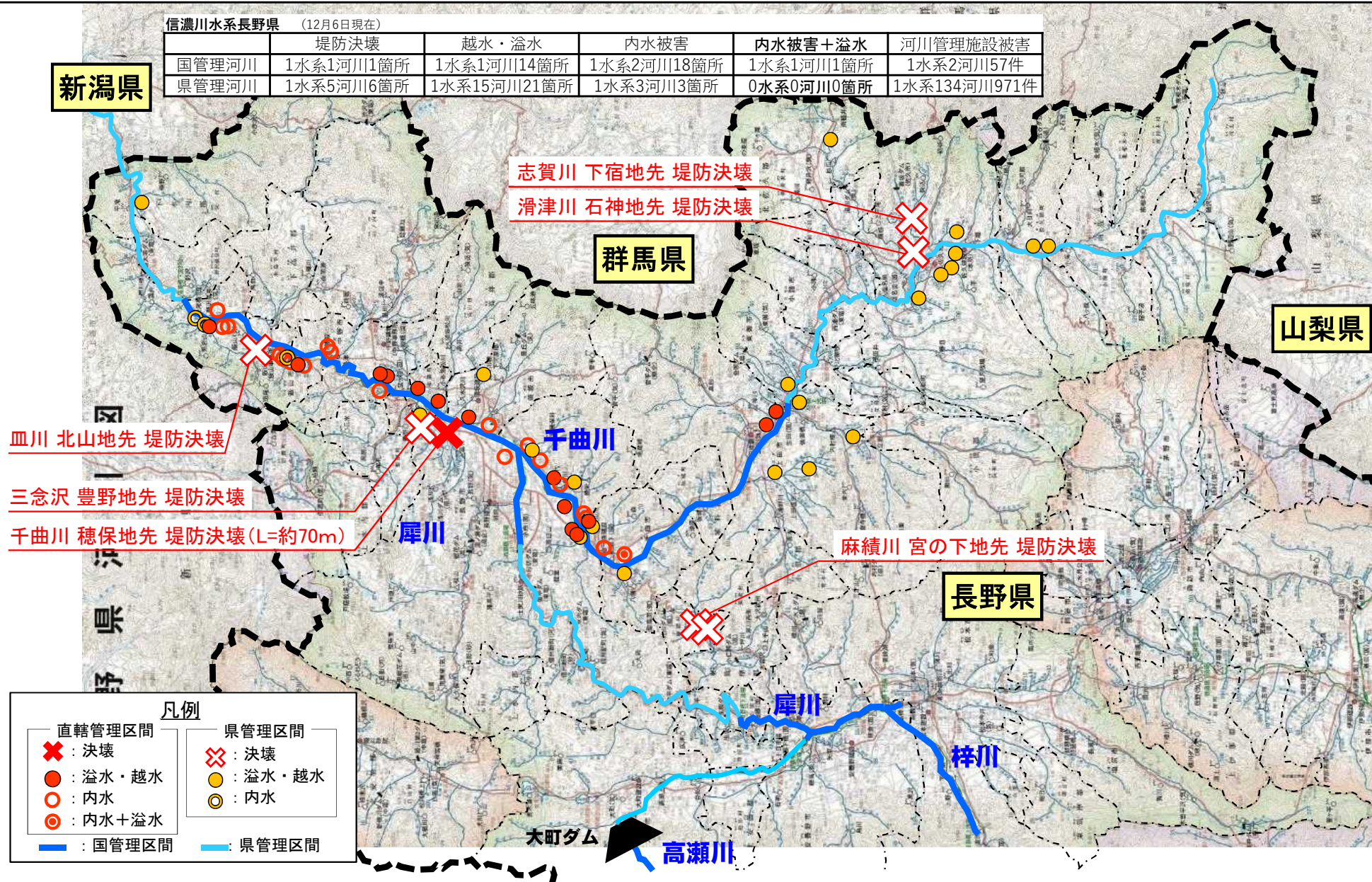


【上田市諏訪形地区】



令和元年 台風第19号による長野県内の被害状況

- 令和元年、台風第19号により、長野県内の各地で被害が発生した。
 ○国管理河川では、千曲川において堤防決壊が発生し、県管理河川では、皿川及び三念沢、志賀川、滑津川、麻績川にて堤防決壊が発生し、浸水被害をもたらした。



令和元年 台風第19号による新潟県内の被害状況

○令和元年、台風第19号により、新潟県内の各地で被害が発生した。
○国管理河川では、信濃川において浸水被害が発生し、県管理河川では、魚野川(信濃川水系)及び矢代川(関川水系)で堤防決壊が発生した。

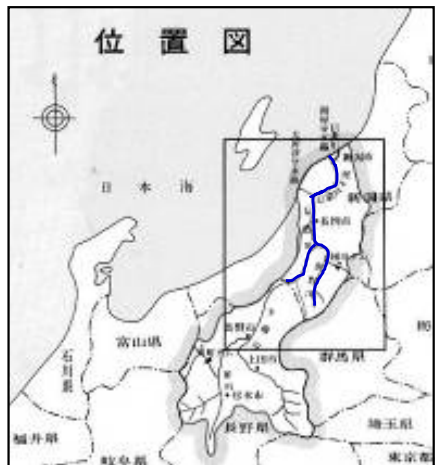
信濃川水系新潟県 (12月6日現在)

	堤防決壊	越水・溢水	内水被害	河川管理施設被害
国管理河川	0水系0河川0箇所	1水系1河川6箇所	0水系0河川0箇所	1水系2河川16件
県管理河川	1水系1河川1箇所	1水系2河川3箇所	0水系0河川0箇所	1水系7河川18件



信濃川水系信濃川 令和元年台風第19号 被害状況

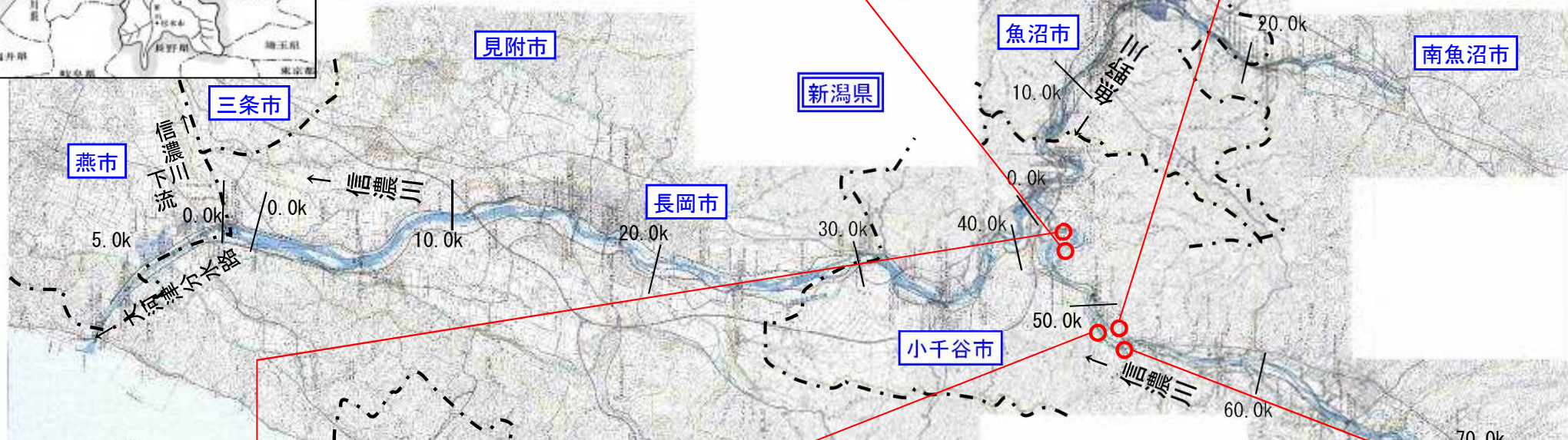
○新潟県内の信濃川沿川では各所で越水が発生し、小千谷市川井地先、岩沢地先、塩殿地先では、家屋の浸水被害が発生した。



小千谷市川井地先



小千谷市岩沢地先



小千谷市塩殿地先



小千谷市真人地先



小千谷市真人地先

- 魚野川の南魚沼市今町地先(魚野川左岸25.65km付近)堤防欠損が発生。
- 次の台風等に備え14日16時45分より24時間体制で応急復旧作業を実施。
- 16日5時55分に応急復旧完了。



応急復旧前



応急復旧後



24時間体制で応急復旧作業を実施

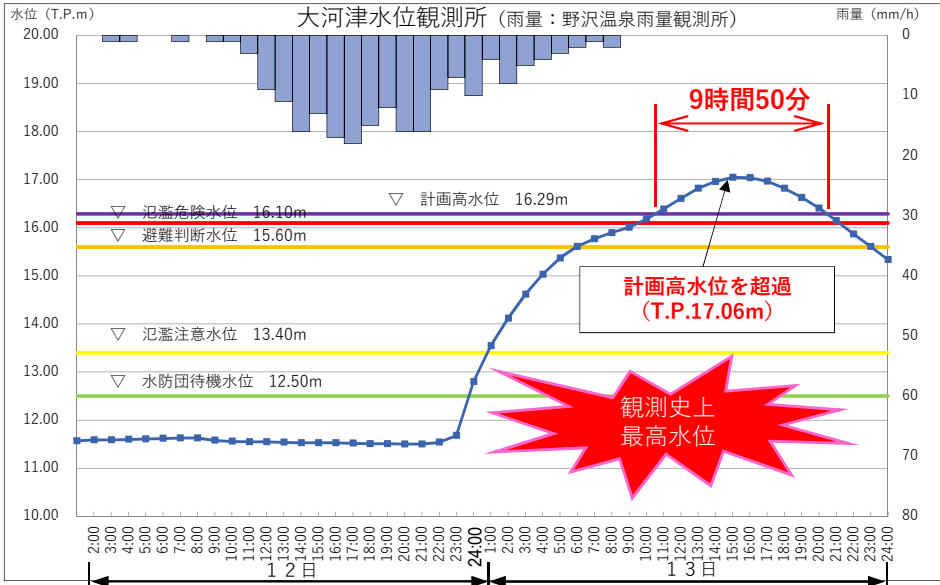
重要インフラの被災状況(信濃川水系千曲川)



千曲川小布施橋付近左岸を望む(令和元年10月13日 15時頃)

信濃川水系信濃川 大河津分水路 出水概況

- 大河津水位観測所では、観測史上最高水位（T.P.17.06m）を観測し、計画高水位を約10時間超過。
- J R 越後線信濃川分水桥梁では、橋桁まで水位が上昇。左右岸で水防活動（土のう積）を実施。



No.18付近 JR越後線信濃川分水桥梁付近の状況



(右岸) 土のう積 作業状況 (燕市)



(右岸) 土のう積 作業完了 (燕市)



(平時)



第二床固副堰堤付近の状況
(10月13日16時06分時点)